

令和3年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	佐賀市立思斉小学校	担当者名	諸岡 麻由子(司書) 俵 真美子
住所	佐賀市久保田町新田 1207	電話番号	0952-68-2151

I. 取組前の宣言内容

宣言	目標	開かれた図書館～身近に図書館を感じよう～
	取組期間	令和3年4月1日～11月30日

II. 取組後の評価

評価	取組人数	424人	実施日数	134日	読書冊数	72297冊	連携した団体数	53団体
	取組内容 (概要)	<p>1. 目標冊数の設定 (続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2年生：1人150冊</li> <li>・3～6年生：130冊</li> </ul> <p>2. 国語の授業を中心とした取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に学年ごとの50選の取り組み (本のたからばこ)</li> <li>・国語の教科書に掲載された本や関連本をクラスへ貸出</li> <li>・図書授業での読み聞かせ</li> <li>・読書ノートの活用</li> </ul> <p>3. 図書館まつりを中心とした本に親しむための取り組み (続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンプラリー</li> <li>・ポイントカードの導入 (新)</li> <li>・図書館クイズ</li> <li>・新聞の活用の導入 (新)</li> <li>・図書委員会主導の図書館まつり</li> <li>・親子読書の取り組み</li> </ul> <p>4. 関係機関との連携した取り組み (続)</p> <p>5. 教科等の授業と関連した取り組み (続)</p>						
	工夫したこと	<p>1. 目標冊数の設定 (続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2年生：150冊、3～6年生：130冊の目標冊数を継続的に設定している。目標冊数はみんなが達成できるような冊数に設定することで意欲を高めている。</li> <li>・貸出時に現在の貸出冊数を伝えるようにし、子どもたちの意識が高まるように努めた。</li> <li>・貸出目標冊数を達成した時に借りた本の表紙をしおりにして賞状と共に進呈し、達成する喜びを得られるようにした。</li> <li>・毎月、月毎に学級全体・個人の貸出冊数一覧を学級担任に提示した。また、0冊の児童がいた場合は貸出を促すようにした。</li> </ul> <p>2. 国語の授業を中心とした取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「本のたからばこ」と題し、継続的に学年ごとの50選の取り組み・推進。50</li> </ul>						

選を達成すると全校放送で紹介し、校長室で表彰式を行い、誰もが達成した喜びを得られるように心がけた。昨年度は全て記述方式だったのに対し、今年度はスタンプにすることにより、支援学級の児童も参加しやすい環境にした。50 選が終わると「本のたからばこ」パート2を用意し、読んだ本の題名・作者名・読んだ日・感じた気持ちを記入するようにした。こちらは、200冊、400冊の達成時に放送・表彰を「本のたからばこパート1」達成時と同様に行い、児童たちの頑張り意欲を高めた。児童たちも継続して取り組みことで意識的に「本のたからばこ」の本を読み、今年度は昨年度より50冊達成率が上昇した。(現時点：50冊達成者…113人、200冊達成者…11人、400冊達成者…2人)

- ・国語の教科書に掲載された関連本を学級や学年に定期的にコンテナやブックトラックに貸出を行い、学習の幅を広げるよう行った。
- ・3年生までは図書の時間を毎週設けてもらい、図書の時間の導入として毎時間、読み聞かせを行った。2年生・3年生は「どくしょちょこんぼこ」(読み聞かせの本の要約・感想)に取り組みを行い、語彙力向上と国語力向上に取り組んだ。
- ・読書ノートを今年度は夏休みの自由課題として取り組み、終わらなかった児童は期限を設けず、書き終えた時に提出する取り組みを行った。

### 3. 図書館まつりを中心とした本に親しむための取り組み

- ・図書館祭り時にスタンプラリーカードの取り組みを行い、児童が借りる楽しみ、喜びを得られるようにした。混雑を避けるため、借用後、自身でスタンプラリーカードにシールを貼るようにした。日によってシールの色を変えた。貼る場所がわかりやすいように様々な場所に見本を掲示した。
- ・今年度は新しくポイントカードの発行をして、図書館に来る楽しみを増やした。1日1回の貸出につき、1ポイントを押印し、10ポイント貯まると貸出券1枚のプレゼント、20ポイントで貸出券2枚のプレゼント、30ポイントで貸出券3枚のプレゼント、40ポイントで貸出券4枚のプレゼントといったようにした。
- ・毎週木曜日に図書委員による図書館クイズを出題し、正解者の中より抽選で5名にプレゼントを用意。
- ・新聞の「松丸君のクイズ」を図書館に貼り、正解者には貸出券をプレゼントした。他にも、新聞のクイズを活用し、毎週、児童たちは様々なクイズに挑戦することができるため、楽しみにしている。
- ・感染症対策を行ったうえで密にならないようなイベントを図書委員で意見を出し合い、みんなが楽しめるようなイベントを考え、6月・11月の2回、開催。

- ① 読み聞かせ……………各学年に分け、広い会場で密にならないよう配慮した。
- ② 本さがし……………各学年に分け、本の題名から分類を予測して本を探した。低学年は図書委員にヒントをもらいながら参加した。
- ③ しおりコンクール…事前に用紙を配布して提出した児童のしおりはラミネートをかけて掲示した。

		<p>④ むりえコンクール…事前に用紙を自由に取ることができ、提出は1人1枚とし、提出した児童のむりえを掲示した。</p> <p>他にも、クラス対抗貸出冊数対決など行い、みんなが参加でき、楽しめるようなイベントを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書週間や図書館まつり、長期休暇などを利用して親子読書活動に取り組んだ。日頃、忙しい保護者や家族と読書を通じて触れあえる機会を設けた。</li> </ul> <p>4. 関係機関との連携した取り組み (続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他校や市立図書館と資源を共有することで、授業等に必要な図書を正確に、かつ確実に用いることで、児童の知識・理解に努めた。</li> </ul> <p>(資源共有システムの利用による本校の図書資料をカバーする役割。)</p> <p>5. 教科等の授業と関連した取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科の関連本や新聞の切り抜き、リーフレットを用意し、コンテナやブックトラックで学級や学年へ貸出を行い、教科の深みを持たせた。</li> <li>・図書室前に新聞やポスターを掲示することで興味・関心を高めた。</li> </ul>
	<p>取組んだ感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2度目のコロナ禍で感染症対策を行いながら、開かれた図書館を目指し、いつでも気兼ねなく楽しめる図書館、何度でも行きたくなるような図書館を心掛けた。新たな試みとして、新聞を活用した図書館クイズを毎週数種類用意することで、児童が楽しみに図書館を訪れるようになった。その結果、昨年度より貸出冊数が約1万2千冊の増加。50選の達成者の増加、貸出目標冊数達成者の増加とつながった。</li> <li>・「本のたからばこ」や「どくしょちょこんばこ」、「親子読書」を通じて、児童や保護者との関りを持ち、考えの共有をすることで、図書館への興味関心を図ることができた。</li> <li>・図書委員も負担が多くなりすぎないように、みんなが楽しく参加することができる、密を避けた図書館まつりを行うことができた。</li> <li>・時事問題にも興味をもってもらうため、図書館の廊下に様々な新聞を掲示したことで、関連した本の借用にもつながった。</li> </ul>
	<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい時間、安らげる時間、癒される時間、落ち着ける時間として、「本に親しむ」ことの楽しさを感じてもらうことを継続する。</li> <li>・本を読むことでインプット・アウトプットをできるようになり、語彙力の上昇・国語力の上昇を継続させる。</li> <li>・読み聞かせ等を継続することで、ことばの大切さ、ことばの使い方も伝えたい。</li> </ul>

# 国語の授業を中心とした取り組み

## 本のたからばこパート1

国語の教科書掲載本を中心とした50選。図書の時間に主に借りています。早い児童は5月に達成。現時点で116人が達成しています。前年度と違い、ハンコ形式にしたことで支援学級の児童も参加しやすくなりました。やる気につながった児童も多数。

## 本のたからばこパート2

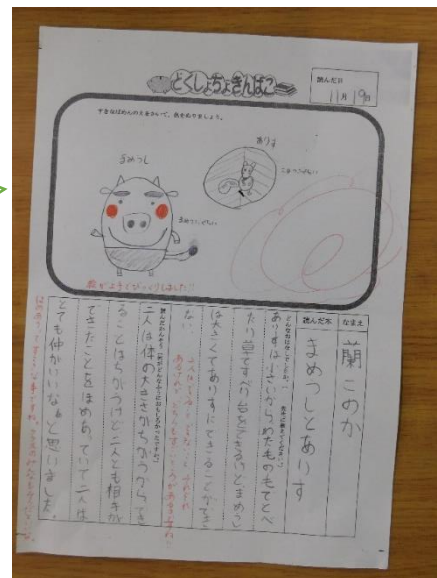
本のたからばこパート1を終えた児童たちが自由に挑戦できるパート2。希望者ですが、パート1を終えた全員がチャレンジしています。現時点で200冊達成が11人、400冊が2人います。同じ本の題名が書くことができないルールなので違う本を借りて書いています。

## 読書ノートの活用

夏休みの宿題として出しました。夏休みに終わらなかった児童はいつでも出すことができます。図書の時間に書く児童も多くなりました。

## 図書の授業で読み聞かせ

図書の時間、3年生までは週に1回、図書の授業を1時間とってもらっています。授業の導入として読み聞かせを行い、2・3年生は読書貯金箱に取り組んでいます。(要約・感想の2種類を記入) 1年生は3学期から様子を見てはじめます。





# 図書館まつり

## 本さがし

本のタイトルを聞いてラベルを予想して本を探します。難しいと感じる児童には図書委員よりヒントをもらいます。



## めいえコンクール

左：作品掲示 下：入賞者作品



## クラス対抗貸出冊数対決

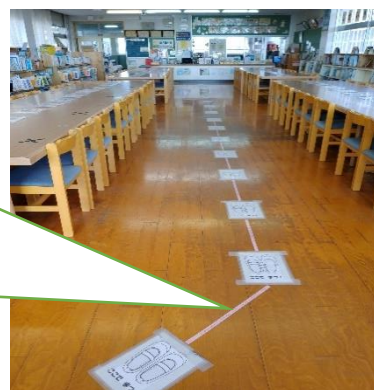
グラフにすることで児童たち同士で声をかけあい、借りにきてくれました。左：しおりコンクール入賞者作品



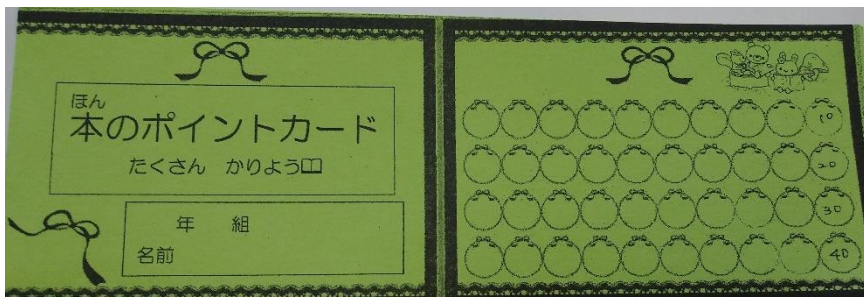
この作品が上手！  
これに投票します！



密を避けるため、並ぶときは足跡に並びます。線になっているテープに本の紹介や図書館クイズを書いて、並ぶのが楽しくなるように工夫しています。





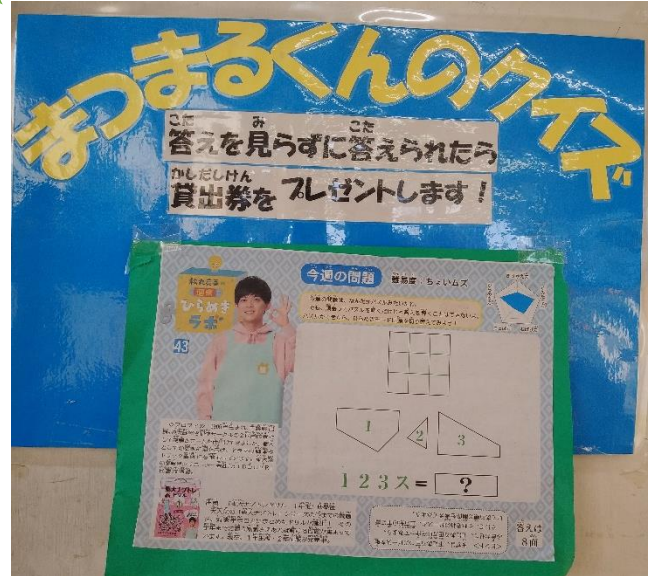
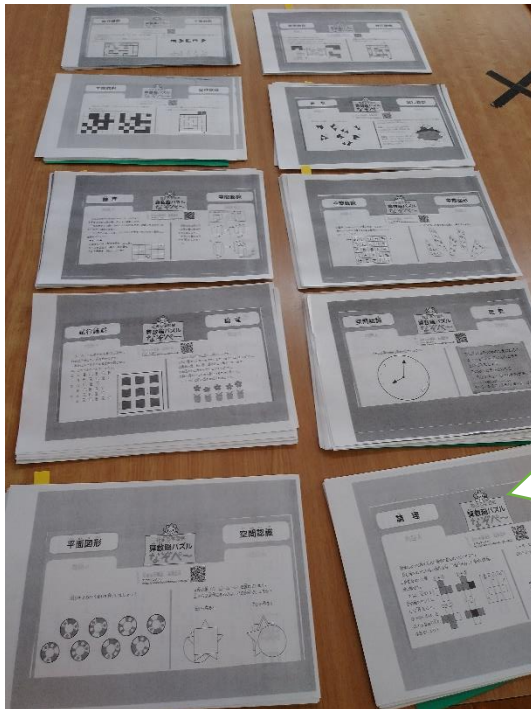


## ポイントカード

本を借りにきたら1ポイントもらえます。10ポイントで貸出券1枚。20ポイントで貸出券2枚。30ポイントで貸出券3枚。40ポイントで貸出券4枚プレゼント。みんな楽しみにきてくれます。

## 新聞活用(ことばで答える編)

毎日新聞には毎週金曜日に松丸君のクイズが掲載されています。切り抜きにして掲示して、誰でも挑戦することができるようにしています。できるだけ、1年生でもチャレンジできる、答えられるような問題を掲示するようにしています。

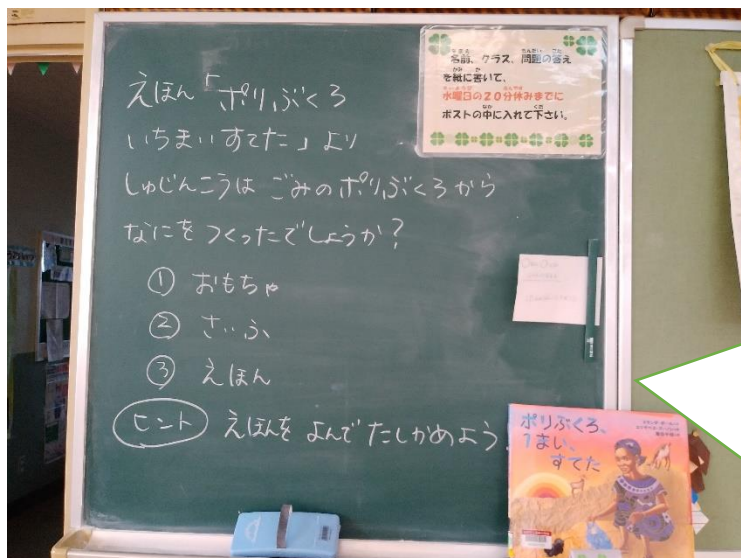


## 新聞活用(じっくり考える編)

じっくり1人で考えて答えを他の児童に見られたくない用に問題を印刷して置いています。じっくり考えることができるため、低学年や支援学級の児童もやる気満々。楽しんでいます。考える力、言葉、数学力もアップしているように感じられます。

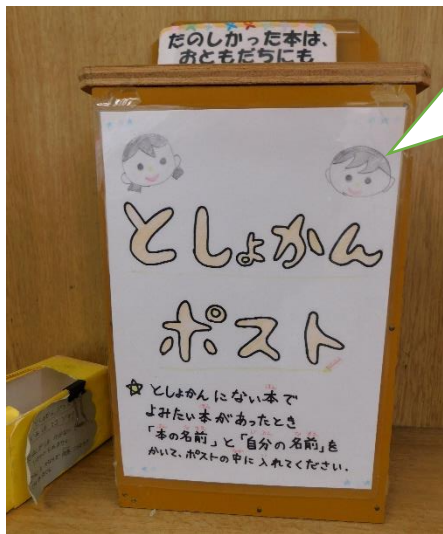
## 図書館クイズ

毎週木曜日に図書委員が考えた図書館クイズを出題。わかった児童は答えを書いてポストに入れます。正解者の中から毎週5名に貸出券をプレゼント。図書館や本に関する問題を出題するようにしています。楽しみながら、知識を増やす目的に行っています。1年生でも読めるよう漢字を避けて記入。





# その他



## 図書館ポスト

本のリクエスト箱。もし採用されて購入した本がある場合はリクエスト者が1番最初に本を借りることができるため人気。マンガ本や人を傷つけるような本はリクエスト不可。

## 新しい本

あたらしい本が届いて貸出が開始されるまでの間、展示してどんな本が入荷したか見ることができます。借りて読みたい欲求を掻き立てられ、他の本の読書意欲にもつながっています。



## 新しい本(貸出開始後の本)

新しく貸出がはじまった本の表紙を掲示しています。写真なので、わかりやすく、今年度、どんな本が入荷したのかわかります。予約したい本の題名がわからない児童はここで確認しています。また、ガラスケースからこのコピーになったことで貸出がはじまったことを知ることができます。廊下ではいつもこの場所をながめる児童で溢れかえります。

## 季節の本の展示

図書館に入ってすぐの展示テーブルの季節や話題の本。このテーブルの本は並べてもすぐに空っぽになるほど人気。授業中・休み時間共におすすめの本を聞く児童が多いため、常にここはたくさん本を並べるようにしています。他の場所にも多数、人気本やおすすめの本を展示しています。







## 市立図書館だよりとフーカスだより

市立図書館やフーカスで本を借りる児童も多いので、目立つ掲示物コーナーに掲示しています。人気本やイベントをチェックする児童もたくさんいます。

## くぼたかんだより

久保田館が近くにあるため、毎号、掲示しています。イベントは人気のようで、児童たちだけでなく、保護者様も時々見に来られます。毎号楽しみにしている児童もいます。



## 図書館だより

本校は、中学部と校舎が併設されているので、毎号図書館だよりを互いに掲示しています。小学部の図書館だよりの下には毎月、学級別の貸出冊数と総貸出冊数を掲示しています。本を読むことで語彙力だけでなく、様々な知識を身につけ、体験すること、それが生きる力に繋がることを伝えています。たくさん本を読んで、心豊かな児童に育ってくださることを願っています。

## 学級や学年への貸出

市立図書館、各学校から資源共有システムで借用した本、自校の本を学習に応じて毎学期、貸出を常に行っています。たくさん調べ学習をしたり、関連本を多く読んだりすることで、学習の幅を広げ、知識量を増やしています。また、多くの本を読むことで、索引や目次の使い分けができるようになってきた児童がたくさんいます。「知りたい」から「調べたい」の意欲を掻き立てています。

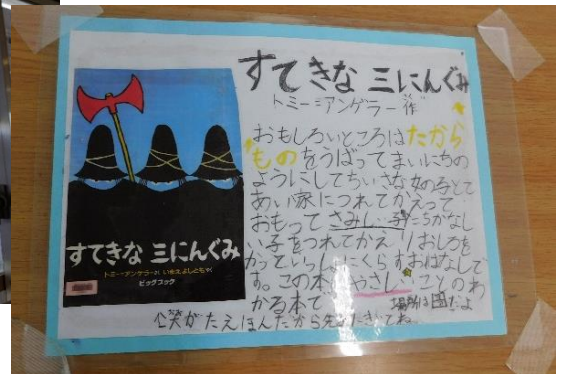
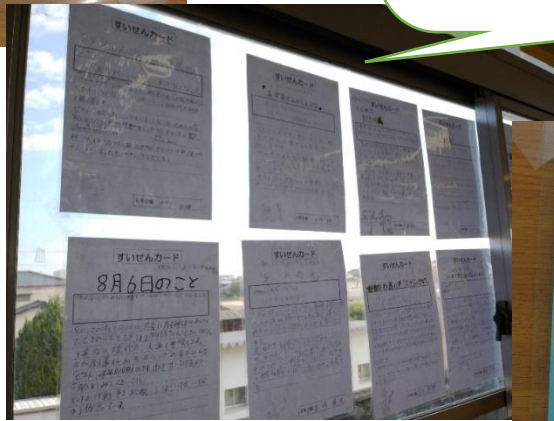






## 調べたこと・POP 作成

本を読んで、POP 作成。図書館の本で調べたことをまとめたもの（平和学習など）を図書館の窓に掲示しました。6年生の掲示物は他学年の参考になります。



## 開かれた図書館

毎月、入り口を季節の掲示物で彩り、入りやすい雰囲気をつくっています。各所、廊下の新しい本の紹介掲示物には、本のおすすめポイントをひとことでPOPに記載。

誰もがいつでも行きたくなる図書館づくり、本に親しみやすい図書館づくりを心掛けました。

本をあまり読まない児童には興味・関心のありそうな本をピックアップして紹介し、貸出につなげました。また、本のたからばこを10冊毎に達成する度に、コメントを入れ、本の紹介もして次の貸出につながるようにしました。その小さな積み重ねにより、本に興味を持ち、貸出冊数増、国語力増につながったと自負しております。

